がん化学療法指示書

登録番号 319

作成日 2022/2/9

レジメン名	weekly nab-PTX+ペムブロリズマブ療法(3週毎)
診療科・対象疾患	(外)PD-L1陽性のホルモン受容体陰性 かつHER2陰性の手術不能又は再発乳がん
投与間隔	12週毎
投与サイクル数	PDになるまで

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	200mg/body	Day1、22、43、64
アブラキサン	アルブミン懸濁型パクリタキセル	100mg/㎡	Day1、8、15、29、36、43、57、64、71

治療内容 注射

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	day1	day8	day15	day22	day29	day36	day43	day50	day57	day64	day71	day78	day84
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	メインルート確保・フラッシュ用	●						●			●			
Rp2		生理食塩液	100mL	15分	点滴静注メイン	●						●			●			
		デキサート注(6.6mg)	1瓶															
Rp3	癌	キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200mg	30分	点滴静注メイン	●						●			●			
		生理食塩液	100mL															
Rp4		生理食塩液	100mL	60分	経過観察用※1	●						●			●			
Rp5		生理食塩液	100mL	任意	側管ルート確保・フラッシュ用※1	●						●			●			
Rp6	癌	アブラキサン (アルブミン懸濁型パクリタキセル)	100mg/㎡	30分	点滴静注側管※2	●						●			●			
		生理食塩液	100mL		※フィルターより下側の三方活栓から投与する													
		生理食塩液は溶解に必要な量のみ使用する																

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	day1	day8	day15	day22	day29	day36	day43	day50	day57	day64	day71	day78	day84
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用		●	●		●	●			●		●		
Rp2		生理食塩液	100mL	15分	点滴静注メイン		●	●		●	●			●		●		
		デキサート注(6.6mg)	1瓶															
Rp3	癌	アブラキサン (アルブミン懸濁型パクリタキセル)	100mg/㎡	30分	点滴静注メイン		●	●		●	●			●		●		
		生理食塩液	100mL															
		生理食塩液は溶解に必要な量のみ使用する																

滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	day1	day8	day15	day22	day29	day36	day43	day50	day57	day64	day71	day78	day84
Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用				●									
Rp2	癌	キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200mg	30分	点滴静注メイン				●									
		生理食塩液	100mL															
Rp3		生理食塩液	50mL	15分	フラッシュ用				●									

その他必要薬剤	
総投与時間	day1、43、64:2時間25分 day8、15、29、36、57、71:55分 day22:55分
血管外漏出リスク	アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル):壊死性抗がん剤 キイトルーダ(ペムブロリズマブ):非壊死性抗がん剤
投与時の注意事項	アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)は特定生物由来製剤(人血清アルブミン含有)であり特定生物由来製剤使用同意書が必要 キイトルーダ(ペムブロリズマブ)はフィルター付きルートが必要 アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)はフィルター付きルートが使用不可 【投与方法の注意点】 Day1、43、64 メインルートからキイトルーダ(ペムブロリズマブ)をフィルター付きルートで投与 ※1:(Rp 4)生理食塩液100mlは1時間の速度でメインルートから投与を開始し、15分間経過した時点で 次の(Rp 5)生理食塩液100mlをフィルターより下側の側管ルートから(フィルターを通さない)ルート確保用として接続 ※2:(Rp 6)アブラキサン(アルブミン懸濁型パクリタキセル)は側管ルートから投与 メインルートの(Rp 4)生理食塩液100mlと側管ルートの(Rp 6)アブラキサンは同時に投与しながら終了する
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、キイトルーダ(ペムブロリズマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠